

第1問 (4割の配点。答案用紙「第1問」の面。2~3行程度でも十分。)

公取委が、いわゆる「二面市場」について、2つの需要者層を包含した1個の検討対象市場を画定したように見える事例として、H27企8「ヤフー/一休」があります。OTA（オンライン旅行代理店）の水平型企业結合の事例です。

そこにおいて公取委は、「本件においては、ユーザー及びホテル業者等を需要者とする2つの異なる役務範囲から構成される「オンライン旅行予約サービス業」を役務範囲として画定した。」としています。

この「ヤフー/一休」における記述を、「二面市場」について2つの需要者層を包含した1個の検討対象市場を画定した先例として重視すべきか否かを、その簡潔な理由とともに、説明してください。その際、添付資料の「第3の1」（ヤフー/一休の審査結果の一部）を参照し、授業内容を踏まえて、解答してください。

なお、Amex米国最高裁判決は平成30年（2018年）、企業結合ガイドライン改定は令和元年、Zホールディングス/LINEは令和2年、です。

第2問 (6割の配点。答案用紙「第2問」の面。その面の半分くらいでも十分。)

今年の5月16日、麒麟ホールディングス株式会社（「麒麟」）とサントリーホールディングス株式会社（「サントリー」）がプレスリリースを行いました。それによれば、「糖質ゼロビールに関する特許のクロスライセンス契約を5月16日に締結しました。」「今回の契約締結により、今後はそれぞれが保有する特許を相互に利用できるようになります。」「[糖質ゼロビールは]健康領域と期待される」ということです。ここに示された両社の行為を「本件行為」と呼びます。

両社はそれぞれ、「麒麟一番搾り 糖質ゼロ」と「パーフェクトサントリービール」という商品名で、糖質ゼロを前面に打ち出すビールを製造・販売しています。

本件行為が独禁法の違反要件を満たすか否かを検討するためにはどのような事実に関する資料を集める必要があるかを、授業内容を踏まえて、説明してください。麒麟とサントリーが「会社」であり「事業者」であることは、当たり前なので、書かなくて結構です。

- * 特許の「ライセンス」とは、特許権者（ライセンサー）が保有する特許権に係る技術をライセンシーが用いてもライセンサーはライセンシーに対して差止請求や損害賠償請求を行わない、という契約を指します。

「クロスライセンス」とは、A社が保有する特許権のB社へのライセンスと、B社が保有する特許権のA社へのライセンスを、まとめて行う契約です。

ライン飲食店予約サービス業を営んでいる。

したがって、ヤフーが運営するメタサーチサービス業と当事会社が運営するオンライン旅行予約サービス業又はオンライン飲食店予約サービス業との関係について、メタサーチサービス業を川上市場、各オンライン予約サービス業を川下市場とする垂直型企業結合と類似するものとみなして、垂直型企業結合の判断基準を参考にして検討を行った。

第3 本件行為が競争に与える影響

1 水平型企業結合（オンライン旅行予約サービス業）

OTAは、ホテル業者等に対しては、OTAのサイトのユーザー数又は当該サイトを通じた取扱高の多寡による獲得競争を行っていると考えられること、及びOTAのホテル業者等に対する売上高は、取扱高に一定割合を乗じたものであること、また、OTAは、ユーザーに対しては、取扱いホテル業者等の多寡又は取扱高に対する一定割合のポイントをユーザーに付与することによる獲得競争を行っていると考えられる。

このため、取扱高ベースの市場シェアは、2つの異なる役務範囲双方における事業者の競争上の地位を示すものとして用いることができると考えられ、当該市場シェアを算出すると、本件行為により、オンライン旅行予約サービス業の合算市場シェアは、約5%、HHIの増分が約6となることから、水平型企業結合のセーフハーバー基準に該当する。

【オンライン旅行予約サービス業の市場シェア】

順位	会社名	市場シェア
1	A社	約25%
1	B社	約25%
3	C社	約10%
4	一休	0-5%
-	ヤフー	0-5%
	その他	約40%
合計		100%

2 水平型企業結合（オンライン飲食店予約サービス業）

飲食店予約事業者は、飲食店に対しては、専ら送客数の多寡による獲得競争を行っており、また、飲食店予約事業者は、ユーザーに対しては、登録飲食店の多寡又は質による獲得競争を行っていると考えられる。

このため、送客数ベースの市場シェアは、2つの異なる役務範囲双方における事業者の競争上の地位を示すものとして用いることができると考えられ、当該市場シェアを算出すると、本件行為により、オンライン飲食店予約サービス業の合算市場シェアは、約10%、HHIの増分が約15になることから、水平型企業結合のセーフハーバー基準に該当する。